

# 船舶事故調査報告書

令和2年3月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和元年10月30日 15時00分ごろ
発生場所	広島県 <sup>えたじま</sup> 江田島市大黒 <sup>おおぐろ</sup> 神島南岸 <sup>かのかわ</sup> 鹿川港シーバース灯から真方位219° 2.3海里付近 (概位 北緯34° 08.9′ 東経132° 24.3′)
事故の概要	プレジャーボート <sup>さや</sup> 彩号は、漂流中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和元年11月27日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 彩号、3.2トン
船舶番号、船舶所有者等	270-48444広島、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	プロペラ翼先端に欠損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風速 約3m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、漂流中、船長が、風や波もあまりないので浅所まで流されることはないと思い、下を向いて釣りの準備をしていたところ、浅所に乗り揚げた。 本船の喫水は、船首不詳、船尾約0.8mであった。
分析	本船は、漂流中、船長が、風や波もあまりないので浅所まで流されることはないと思い、下を向いて釣りの準備をしていたことから、浅所に近づいていることに気付かず、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、漂流中、船長が、風や波もあまりないので浅所まで流されることはないと思い、下を向いて釣りの準備をしていたため、浅所に近づいていることに気付かず、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・浅所の近くで漂流する際は、浅所に近づかないように周囲の適切な見張りを行うこと。